

平成19年 第4回定例会一般質問

○議長 横尾 武志君

田島議員の一般質問を許します。3番、田島議員。

○議員 3番 田島 憲道君

3番、田島憲道です。新人らしく、提案型の質問をさせていただきます。

観光案内サインの整備について、後期基本計画の主要施策のひとつに、平成16年3月に出された観光まちづくりビジョンの推進があります。私たち新人議員4人は、当選直後から各課の課長に来ていただき、勉強会を開いてきました。いただいた膨大な資料の一つであります観光まちづくりビジョン、こちらですね、私はその中身に大変驚かされました。町内外の有識者が結集し、議論を重ねてできた集大成。実に素晴らしいものだなとの感想です。これを、目からうろこが落ちるというのでしょうか。

コンサルタントの方が、コーディネーターを務め、文章を一つ一つにお金がかかっているという感じもします。

しかし、策定されてから3年、今となっては絵にかいたもちになりつつあるのもあります。この財政事情ではやむを得ないかなあと。財政シミュレーションで示す、平成26年度ごろまでは、町民みんなで耐えていかなければならないと思っております。

そういった状況の中で、ソフト面での各プロジェクトの進捗状況は、主な事業主体である各種団体や各担当課が、現在、進行途中であると信じております。

きょうは、ハード面でのプロジェクトの中で、主な事業主体が行政単独となっている、観光客にとってわかりやすい案内サイン整備プロジェクトについて、今後どのように取り組まれるのかお尋ねします。

第1回目の質問は以上です。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。産業観光課長。

○産業観光課長 北村 敬君

それでは、観光案内サインの整備についての見解ということで、ご説明をさせていただきます。まず最初に、今までの案内、今まででき上がってきております案内サイン整備の取り組みについてご説明をさせていただきます。

平成6年度から12年度までの6年間、当時の企画課が中心となりまして、職員で構成するプロジェクトを立ち上げまして、芦屋町サイン整備計画を策定し、町内の主要施設や道路沿いに48カ所のサインを設置してきております。

内容につきましては、施設の定点サインが7カ所、文化財の定点サインが11カ所、文化財誘導サインが9カ所、それから道路沿いの誘導サインが15カ所、それから町の、芦屋町の入り口にございます入りロゲートサインが3カ所、それから総合案内板のサイン。これは町全体のいろんな施設、景勝地等々、載せたもんでございますが、役場前に、それから釜の里、それから競艇場の外向け発売所の前の3カ所に全体の総合案内板のサインを設置してきております。

これのサインの目的でございますが、サインができることで、町を訪れた人たちが安心して行動でき、町のおもてなしの精神が形となってあらわれると。町に住む人たちが、町の魅力を再発見でき、心の中に町に対する誇りや愛着が芽生える、そんなきっかけづくりになってほしい、との思いで計画がスタートしたということでございます。

サイン本体の色や形のコンセプトは、芦屋釜をイメージした茶色と町木の黒松をイメージして緑を採用し、統一したデザインで設置をしてきております。日本語と英語で併記をすべてにいたしております。

以上のことから、芦屋町のサイン整備計画は、一応、一区切りついていると、私どもは認識をいたしております。

ただし、設置終了後、7年を経過してる中で、不足している箇所や新たな施設、この新たな施設というのは、歴史民俗資料館等々のことでございますが、そういったものが背景にございまして、見直しや検討が必要であろうと思っておるところでございます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 3番 田島 憲道君

ご説明ありがとうございます。芦屋町、狭い町内ですが、実にわかりづらいところに、各施設や観光スポットが点在しています。今、説明があった箇所にある案内サインは、外来者の目線で見ると、機能しているのかなあとの実感がしております。

また、主要道路における誘導表示が、十分でないということも町民の皆様も感じていると思います。これらは、すべて芦屋町の歴史やイメージ、景観に配慮してつくられたものだと思いますが、観光立町を目指す芦屋町としては、インパクトに欠けるのではないかと感じております。

そこで、提案なんですけど、芦屋らしさというものを前面に打ち出し、景観を損なわないような大型の観光案内マップを船頭町の駐車場、マリンテラス、釜の里、夏井ヶ浜や大君の江川、河畔公園内の各駐車場、そして競艇場の国道495号線沿いの駐車場に設置できないかと提案します。特に、競艇場前の国道495は、玄界灘沿いを走る近郊でも有数のドライブコースになっています。朝一丸ですか、後方の駐車場は、非開催時でも日中を開口し、道路から入りやすくなるよう

に、ガードレールを撤去していただきまして、それこそまずは、簡易なトイレでも設置して、ほかへ流れている観光客の足をとめてもらえるような環境に位置付けてほしいと思います。

利用客がふえれば、自然の流れで直売場などの新たなビジネスチャンスを生み、商工振興の芽も出てくるのではないのでしょうか。町長、いかがでしょうか。町長にお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

町長。

○町長 波多野茂丸君

先ほど、課長の方から答弁ございましたように、サイン計画、平成6年からのサイン計画の折、私は議員にりましたが、議員になったばかりで、余りよく、この行政上の計画わからなかったんですけど、できたときに、これ、感性の問題ですから、それぞれの、私は余りぱっとしないなというふうに感じたわけでございますが、まあ、しかし、多額の金額、投資しておられます。

それから、課長言われたように、もう相当数たっております。いろんな施設も、またできておりますので、田島議員、ご提案のあったようにですね、再度、これは、見直すべきだと、私も考えておる次第でございます。

来年は仮庁舎等々の行政になりますし、いろいろ行政内でも内部、忙しさがありません。それから、芦屋橋のかけかえ等々ありますんで、まあ、計画を立てまして、せめて芦屋橋のかけかえが終わるぐらいまでに何とか実施できればなというふうに、私も思っておる次第でございます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

田島議員。

○議員 3番 田島 憲道君

大変ありがとうございました。うれしいお言葉をちょうだいいたしました。

この観光案内サイン整備事業は、観光まちづくりビジョンに上げられている、すべてのプロジェクトに通ずるものです。おもてなしの心で観光客を迎い入れ、交流人口の増大に努めるなら、重要な施策の一つですので、力を入れて取り組んでいただきたいと思います。

以上で、私の質問を終わります。

○議長 横尾 武志君

以上で、田島議員の一般質問は終わりました。